

和東町総合保健福祉施設整備に関する 住民ワークショップの結果概要

1. 開催日時・場所

令和元年8月21日（水）午後1時30分～午後4時
和東町社会福祉センター 大ホール

2. 参加者

総数 26名

3. 討議テーマ

第1部のテーマ：この施設をどこに整備したらいいと思うか

第2部のテーマ：この施設がこんなところであったらステキだね！

4. 討議内容

1) 第1部 「この施設をどこに整備したらいいと思うか」

整備候補地については、別紙の5か所の整備候補地について、各候補地のプラス・マイナス面も含め議論をしていただきました。（別紙参照）

A	老人福祉センターの隣接地
B	グリーンティ和東の隣接地
C	いきいき子ども館の隣接地
D	海洋センターの敷地内
E	町役場の隣接地

その結果、次の2つが整備候補地として望ましいという意見が多数を占めました。

候補地	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の幹線道路に隣接する地区になる（宇治田原方面とトンネルで繋がる） ○ 敷地的に余裕があり、平屋建てを中心した施設整備が可能ではないか ○ 長期的には、役場の移転等も含め、新たな拠点としていくことも考えられる ○ 洪水や土砂災害の危険度も比較的少ない。 ※ 但し、この対象地沿いに流れている大勘定川は川幅も狭く、大雨の時は浸水も心配される
E	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民にとって馴染みがある場所で、利用しやすい ○ 役場などの施設もあり、町の中心ゾーンなどで利便性が高い ○ 関係機関等との連携がとりやすい ※ 但し、浸水時には人の出入りも難しくなり、避難施設としての機能を果たせないのではないか

この他、この場所に必ずしも限定しない考えも提案されました。

▽ ローソンの後背地が望ましい

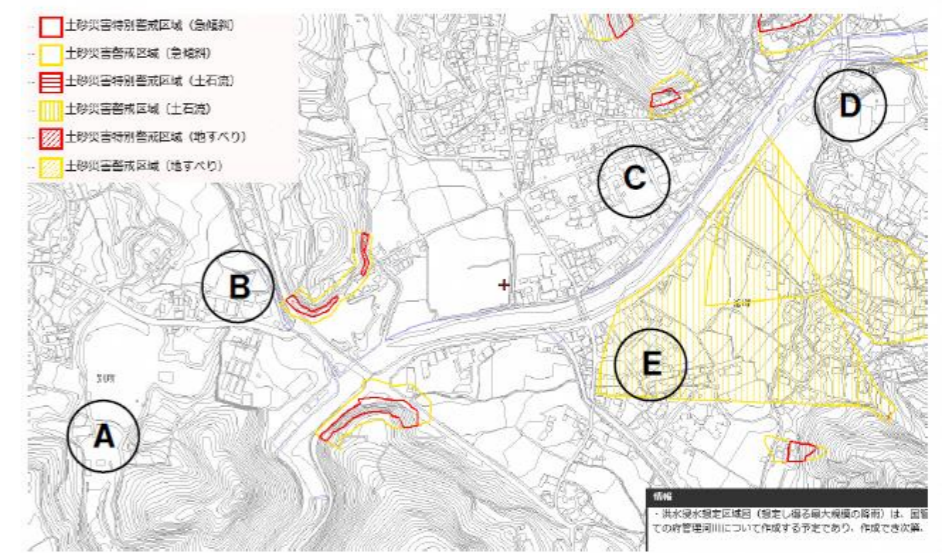
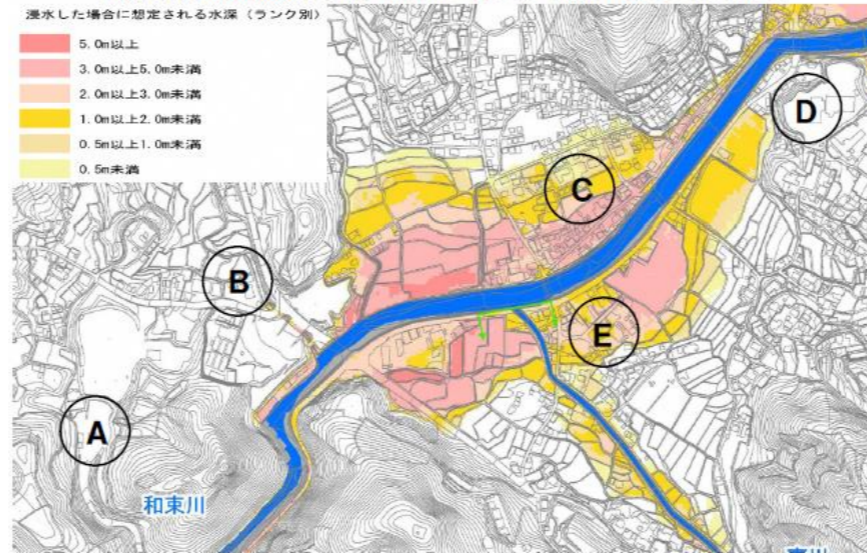
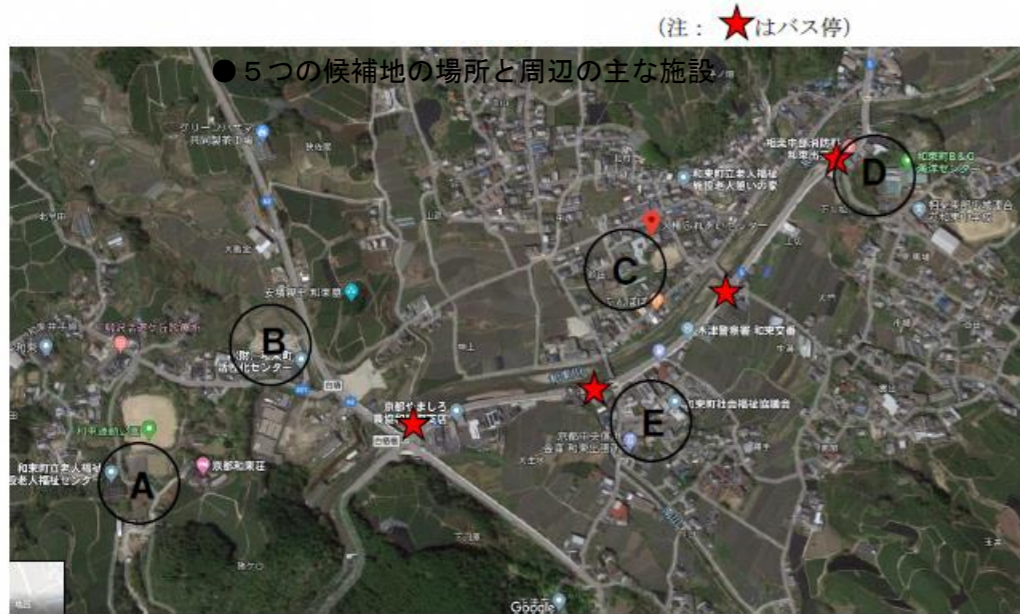
▽ このような施設は、むしろ町外に持っていくべきではないか

■整備候補地の概況

●候補地周辺の洪水浸水想定区域

(令和元年5月公表：水防法の改正を受けた見直し)

●候補地周辺の土砂災害警戒区域



	候補地 A	候補地 B	候補地 C	候補地 D	候補地 E
位置	老人福祉センターの隣接地	グリーンティ和東の隣接地	いきいき子ども館の隣接地	海洋センターの敷地内	町役場の隣接地
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地の環境にゆとりがあり、土地の確保や造成が比較的容易である ○運動公園にも隣接し、スポーツ・レクリエーション活動との連携もとれる ○災害（洪水、土砂）の危険性が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○お茶の魅力を発信する拠点である和東茶カフェに隣接しており、観光との連携も考えられる ○府道和東・井手線に繋がり、将来宇治田原町とのトンネルも開通する幹線道路に接続している ○既に大規模な駐車場が整備されており、今回計画する駐車場との共有化が可能である ○災害（洪水、土砂）の危険性が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○いきいき子ども館や共同浴場も隣接しており、連携した活用が考えられる ○町の中心ゾーンにも近く、様々な方面からのアクセスが可能である 	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋センターや中学校と隣接しており、連携した活用が考えられる ○高台となっているが、車でのアクセスは問題がなく、周辺へのマイナス（人や車の騒音等）影響もほとんどない ○災害（洪水、土砂）の危険性が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在役場、国保診療所、社会福祉センターが整備されている場所と隣接しており、そこでの再建であれば、住民にとって“馴染み感”があり、中心ゾーンにあることから利便性は高い。 ○関連する機関（役場等）との連携性も確保しやすい
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ○役場からは最も離れており、役場等の関連機関との連携に問題が生じる可能性がある ○幹線道路からは少し離れており、引き込み道路の整備・補強が必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> ○役場からは比較的離れており、役場等の関連機関との連携に問題が生じる可能性がある ○現状の進入路は狭く、車の離合や大型車の通行が困難であるので、新しいアクセス道路の整備が必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> ○現状の道路構造だけでは脆弱であり、アクセス道路の強化は必要となる ○北側には住宅地が隣接しており、日照の問題や騒音等の問題も考慮する必要がある ○最大級の降雨があった場合には、2m前後の浸水が想定されており、施設を整備する場合は一定のかさ上げが必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化したプールの撤去が前提となり、今後のプールの在り方を検討する必要がある ○急な坂道でのアクセスとなり、歩行でのアクセスには負担が大きい ○役場からは比較的離れており、役場等の関連機関との連携に問題が生じる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○最大級の降雨があった場合には、2～3m程度の浸水が想定されるとともに、土砂災害（50cm～1m程度）の危険性が指摘されている（但し、建物の崩壊がおきるようなものではない） ○整備する場所によっては、国保診療所や社会福祉センターの機能を一定期間、別に確保する必要が生じる

2) 第2部 「この施設がこんなところであったらステキだね！」

5つの班に分かれ、自由討議を行っていただき、最後に各グループから発表していただきました。



第1班

子育て

子どもの遊び場

保育園

子どもが休日に
遊べる場

授乳室

高齢者

配食サービスの
充実

高齢者の集まる
「誰でも
の広場」の回数券増

認知症カフェの
設置

文化

調理実習室（子ど
も高齢者も可）

料理教室
（子どもや男性）

図書コーナー・室・館
（お茶だけでなく、一般
書・児童書・町の歴史等）

文化教室

喫茶・軽食

茶室
（茶道・華道を親子で学
べる）

趣味

カラオケ室

DVD視聴室

サロン・カフェコーナー
（和東茶無料体験コーナー、
お茶・コーヒー・紅茶のいれ方
教室）

ホール
（300名収容の文化的な発表
の場。琴・コーラス・読み聞か
せ等）

ハード面での整備

避難所・物資保管
庫

シャワーコーナ
ー

お茶の足湯

凸凹があり足裏の刺激
が楽しめるリラクゼー
ションの場

賃貸住居

短期滞在利
用室

バリアフリー化
（2階建ならエレベ
ーター等）

行政（公的）機能の組み入れ

教育委員会

保健福祉産業施設
としての整備
（商工会も含む）

第2班

子育て

学童保育

こども食堂

赤ちゃんが自由に遊べる
コーナー

高齢者

いきいきシルバー
派遣所

シルバー人材育成

福祉

デイサービスのな
部屋

みんなに関われる
介護機能

体験

調理実習室

趣味等を学
べる場

子どもたちが
仕事を体験で
きる場

憩い

カフェ

茶室

食事、アルコール
も楽しめる場

やすらぎ

いつ行っても誰かと関
われる空間

仲間が集える
場

身体的悩みを相談できる場

娯楽

文化的なホール

映画館的なもの

カラオケボックス

プラネタリウム

観光

道の駅

町の歴史館

交通手段

コミュニティバス

タクシー会社

就業対策

ハローワーク

第3班

ふれあい

乳児用遊び場

免許を返すと山間部なので「井の中の蛙」になるので、楽しめる施設があると希望が持てる

老人と子供一緒に触れ合える場（老人が子どもに遊びを教える）

子どもたちと一緒に楽しめる場

カフェ

カフェ

福祉協議会な場所（カフェ的）

居場所

おしゃべりしながらお茶を飲んで長居できる場

ふっと立ち寄れる場所づくり

健康

フィットネスクラブ（マシン導入）

簡単なスポーツ機器の設置

健康と団らんのできる場所

軽いスポーツができる場所（屋内・外）

イベント・アクティビティ

温泉（足湯）

朝市&野菜とれたて市場

趣味の部屋（英会話・カラオケ・華道・茶道・絵画・習字等）

図書館

交通

役場と保健センターの循環バス（無料）

施設への循環バス

バス停の設置

第4班

児童

児童保育

子どもの文化体験

子どもが自由に遊べるスペース

屋内の遊び場（雨天対策）

オルタナティブスクール（不登校対策）

遊具のある公園

演劇をつくる

高齢者文化活動・健康増進

認知症が予防できる場

体操できるルーム

老人が遊べる所

ヨガができる場

手芸・パッチワーク

トレーニングルーム

ゲームができる場

屋上にプール

カフェ

おいしいお茶・コーヒーが飲める

医療充実

入院可能な病室

診療所

一緒にあったら便利なもの

予約無しで使えるミーティングルーム

自習室

図書館

調理室

バリアフリー

全面的なバリアフリー

どこにでも椅子がある

2階にはスロープ設置

土足で入れる施設

第5班

子ども・高齢者の福祉コーナー

子どものプレイルーム

高齢者が軽スポーツや話したりできる場

遊具がある子どもの集える場

同窓会の会場（宿泊可）

子ども広場
・室内（空調完備）
・充実したおもちゃ

お見合いの席

趣味の教室
（カラオケ・俳句）

診療所

広く・きれいで・明るいスペース

健康増進の取り組み

相談窓口

設備

図書館
（カフェスペース併設）

図書室（移設）

会議室（研修室）

茶室

バーベキュースペース

トイレの便座は暖かいもの

椅子（やわらかくて多くの人が使える）

広い公園・広場

おしゃれな建物

カフェ（ドトール・スタバ）雇用も狙う

集いの場

集いの場（乳児から高齢者まで）

仲間でお茶をすめる場

町外の人も来られる場

住民みんなのよりどころ

食事

ごはんなど食べてもいい場所（観光客もOK）

食事の提供（子ども・高齢者）

調理実習室（災害対応可）

お昼ご飯が食べられる所（持ち帰る弁当）

料理教室（年齢問わない・男女OK）

物販・販売

和東産農産物販売（100円対応）

アウトドアのショップ

農産物直売所

移動スーパー

自販機（災害対応）

売店

展示会商品

サービス

外国人のヘルプサービス

送迎バス・コミュニティバス

Wi-Fi

最後に、和東町総合保健福祉施設整備検討委員会の谷口委員長から以下のような講評をいただきました。

昨年1年間検討委員会の中で議論を重ねてきたが、本日はそこでは出なかった様々な意見やアイデアが出された。中には「町外につくれ」というような意見もあった。確かに、これからは“連携”という言葉がキーワードになると思う。例えば宇治田原町とはトンネルがつながれば非常に近い距離にもなる。近隣で同じようなものを作るのが果たしてどうか、という議論もあるだろう。これからの5年・10年、さらには30年といった将来を見据えた議論をしていくことも大切だと思う。

連携という視点では、公民連携が昨今注目を浴びており、お金や知恵の面で連携していくことである。本日のみなさんの提案にも民間的な施設もでていたし、例えばスーパーなどが組み入れられるということなども面白い展開がありえるかもしれないと思った。

本日は、世代的にも分野的にも幅広い形に集まっていた。この施設の整備にとどまらずまちづくりにもおいても非常に大切なことであり、大変有意義な議論ができたと思う。でも、もう一つ大事なのはこれからです。今日集まったメンバーは、これからのまちづくりの仲間であり、この計画のプロセスのみならず完成後も様々なかかわりを積極的に持っていただき、知恵や力を今後とも貸していただければと思う。

本日は、大変ありがとうございました。